

29年度一般会計決算 とことんチェック！

平成29年度一般会計決算は、9月10日に上程され決算特別委員会に付託された。総務・産業建設・民生・教育のそれぞれ分野ごとの小委員会により詳細な説明・質疑を行い、18日に決算特別委員会を開催し全体の総括質疑を行った。また、21日の本会議で委員会の審査結果報告を受け採決を行った。

決算特別委員会（委員長 河村 善一）における主な質疑は次のとおり。

総務部門

問 税の不能欠損処分について「基本的人權の尊重」の観点から、どう考えるか。
(瀧 すみ江議員)

答 (総務課長) 生活実態にに応じて、法に則り処分している。

問 ①大型生ごみ処理機実証実験の総括はしているか。
②ごみの不法投棄に対する啓発はどのようにしているか。
(瀧 すみ江議員)

答 (環境対策課長) ①検証はできていないが、利用者が固定されている。
②シルバー人材センターに委託し、定期的にパトロールを実施している。警察とも、連携をとっている。

問 地域おこし協力隊4名を、どのように評価しているか。
(森野 隆議員)

答 (総合政策部長) 各分野において、地域ブランドの確立に向けた活動をさ

れている。

問 現在の行政レベルを維持していくための人件費について尋ねる。
(西澤 桂一議員)

答 (総務課長) 人件費は、人事院勧告等により増加傾向にある。現在、正規職員は、172名、臨時嘱託職員は157名の状況である。

問 ①消防団員の確保に向け、どのような取り組みを行っているか。
②最近、台風時などに自主避難所(3カ所)が開設されるが、その設備等は充分か。また、場所の周知等は住民に行き届いているか。
(西澤 桂一議員)



消防団員活動(町ポンプ操法大会より)

答 (危機管理対策室長)

①区長総代会での推薦依頼、団員からの勧誘のほか、町のイベント時に団員募集の啓発を行っている。

民生部門

②自主避難時は、食料・寝具は持込をお願いしている。避難所の環境面について充分確認しながら受入を行っている。施設の周知については、日常から広報・HP・防災無線を活用している。

問 先の質疑で、大型生ごみ処理機の総括ができていないとのこと。実証実験はいつまで行うのか。
(西澤 桂一議員)

答 (環境対策課長) 設置の際に、いつまで行うかの決定ができていなかった。

問 旧近江銀行、旧郡役所のバリアフリー化がされていらないが、どうなのか。
(村田 定議員)

答 (総合政策部長) ユニバーサルマナーにより、施設管理者がしっかり対応することで、バリアフリーをクリアしていきたい。

答 (住民福祉部長) 今後、公共施設のあり方検討委員会で検討していきたい。

問 緊急通報システムの登録者増加に向けた町の取り組みはどうか。
(瀧 すみ江議員)

答 (長寿社会課長) 広報等による啓発、ならびに民生委員を通じた啓発を進めていきたい。

問 聴覚障がいの方々に対する緊急時・災害時の手話通訳対応は、どのように考えているか。
(瀧 すみ江議員)

答 (地域福祉課課長補佐) 災害時は、避難所の対応や避難の規模によって変わるため、危機管理対策室と協議し

進めていきたい。



愛知川保健センター

問 つくし保育園の臨時職員の数と、近年の児童虐待の増加傾向に鑑み、新年度予算では、正規の保育士を一人でも増やすことが必要と思うが、その考えはどうか。
(辰巳 保議員)

答 (町長) 新年度予算において、さまざまな分野から要望が出てきている。児童虐待等も含め、しっかり検討していく。

産業建設部門

問 有害鳥獣に対する取り組みが、猟友会任せになっていないか。
(澤田 源宏議員)

答 (農林振興課長) 有害鳥獣駆除は、猟友会に委託して行っているが、地域での活動も必要のため、彦根・愛知・犬上の協議会や町の協議会でも継続して啓発を行っている。

問 町の里道・水路の管理はどのようにされているか。
(西澤 桂一議員)